

# エルダ一



## （特集）

# 新任人事担当者のための 高齢者雇用入門

リーダーズ  
トーク

# シニアの健康長寿を支える社会参加 学びを通じて地域とつながる活動を推進

読者アンケートにご協力をお願いします

202  
7



ISBN978-4-86319-977-4

C2402 ¥458E

定価 503 円（本体 458 円+税）

# 『70歳雇用推進事例集 2023』 のご案内

2021(令和3)年4月1日より、改正高年齢者雇用安定法が施行され、70歳までの就業を確保する措置を講ずることが事業主の努力義務となりました。

JEEDでは、昨年作成した「70歳雇用推進事例集2022」に引き続き、「70歳雇用推進事例集2023」を発行しました。

本事例集では、70歳までの就業確保措置を講じた21事例を紹介しています。



『70歳雇用推進事例集2023』はホームページより無料でダウンロードできます

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/manual.html>

70歳雇用推進事例集

検索



生涯現役で

## 働くとは

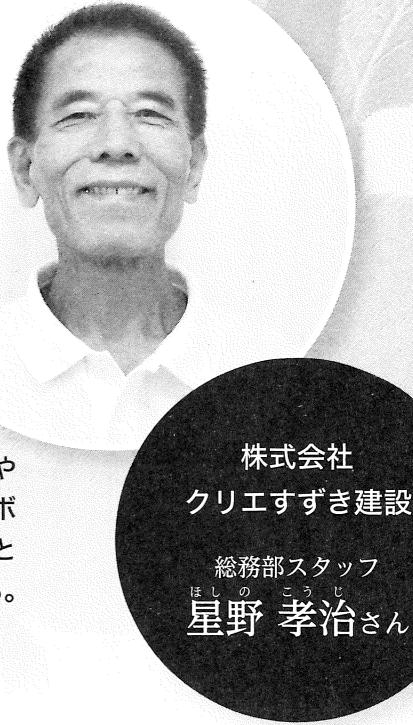
▼ 地域に恩返しを  
埼玉県川口市で生まれた私は、27歳で結婚と同時に、草加市に転居しました。その3年後、

高齢に関係なく働ける企業がありますよ」と声をかけてくださったのです。目の前がパッと明るくなりました。そして、2ヶ月後には、現在の勤務先であるクリエすずき建設と出会いました。住まいづくり事業や暮らしサポート事業を開拓する住宅建設の会社で、スタッフは8人。若い世代が活き活き働いています。70歳前後の従業員も3人いる高齢者が働きやすい職場です。私は週2日、9時から15時までの勤務ですが、就業日は毎月20日に翌月の就業希望日を出してフレキシブルに対応してもらえたため、計画的に予定が立てられます。私のおもな仕事は事務一般で、データ入力やSNSを使っての情報提供などです。朝礼では、その日の仕事の目標などをそれぞれが発表することもあり、温かい雰囲気のなかにも緊張感があつて、みんなでステップアップを目指せることに感謝しています。

多様な働き方ができる会社を選んだのは、訳がある。星野さんのやり残したことの一つに地域貢献があった。就業日ではない日をボランティア活動にあてられると知った星野さん。大車輪の活躍が始まる。

第83回

## 生涯現役で働くとは



株式会社  
クリエすずき建設  
総務部スタッフ  
ほしの  
星野 孝治さん

星野孝治さん（73歳）は、外資系企業でガソリンスタンド施設の管理や営業職などに従事してきた。現在は、地元の会社に勤めながらさまざまなボランティア活動に参加するなど、多忙な日々を送る。「シニアががんばることで周囲を元気にしたい」と願う星野さんが、生涯現役で働き続ける極意を語る。

私は埼玉県川口市の生まれです。地元の高校を卒業後、建築関係の大学に進み、外資系の石油元売り会社に就職しました。入社後、ガソリンスタンド施設の現場管理部門に配属されました。それから約10年後、本社勤務となり、プランントや企画の仕事を担当し、営業部門にも約10年かかりました。そして、再び施設の現場管理の仕事を戻り、50歳になつたとき早期退職しました。

営業の仕事を以前から興味があつたので、配属されたときはうれしかつたです。ガソリンスタンドの営業は販売店に経営のカウンセリングなどをするのがおもな業務であり、さまざまな出会いのなかで学ぶことも多く、充実した日々でした。50歳で早期退職を選んだのは、仕事そのものへの不満ではなく、当時は、石油会社の合併が急速に進むなか、会社の将来の姿が見えたような気がして迷うことなく選択しました。退職後はしばらく知人の仕事を手伝つていましたが、前職の会社が施設部門をアウトソーシング（外部委託）することになり、その外部委託された外資系会社から声がかかり、社員に採用されました。結果、石油会社にいたときと同じ業務を行うことになるのですから人生のめぐりあわせとはおもしろいものです。

▼ 与えられた場所で全力を尽くす

千葉県柏市に移り、いまに至つています。柏市は第二の故郷ですが、ずっと仕事に忙殺されて地域と向き合つてこなかつたことを申し訳なく思つっていました。母が介護施設でお世話になつたこともあり、自由な時間ができたら地域に恩返ししたいと思い続けてきました。2019年6月に柏市生涯現役促進協議会の窓口を訪ねた際、仕事の話と同時に福祉関係のボランティア活動をやつてみたいと相談しました。すると「福祉の仕事セミナー」を紹介され、セミナーに参加、翌7月に福祉関連事業所「花いちりん」に加入し、5月から11月の間、週1回高齢者宅の雑草駆除などのお手伝いをすることになりました。クリエすずき建設での就業日以外に活動ができるので、ありがたいと思っています。

2019年は忙しい年になりました。災害救援ボランティアのリーダー認定証とあわせて上級救命技能認定証を取得、柏市の訪問型生活支援サポートの認定証も取得しました。折しも同年9月には、台風15号が房総半島に甚大な被害をもたらしました。私も民家の土砂除去に駆けつけましたが、なかなか作業が進まない様子を目のあたりにして、小型車両建設機械運転の特別教育を受け、修了しました。さらに、被災地に駆けつける人たちを適切に人員配置できるよう災害ボランティアコーディネーターと、2021年には、柏市社会福祉協議会「さわやかサービス」の

その会社の規定では、60歳になると給料が大幅に減額されるため、話し合つて個人事業主として契約更改をしました。以後は、個人事業主として68歳まで働きました。

星野さんは背も高く、筋肉質で精悍な雰囲気におふれている。これまでの歩みを語る口調は淡淡としつつも、強い意志で自らの運命を切り開いてきたことが想像できる。

▼ 人生は出会いの連続

68歳で自由な時間を手に入れて、しばらくはその状態を堪能していましたが、体を動かすことが大好きな私は、ずっと家にいることがだんだん苦痛になつてきました。とりあえず民間の派遣会社に登録してみたものの、仕事を紹介してくれる方は、年齢を考慮してか「エクセルが使えることが前提ですから、星野さんはむずかしいかもしませんね」と頭から決めつけます。外資系の施設管理部門でしたから、いち早くパソコンの技術は身につけていましたが、人は年齢だけでこういう見方をするのだと愕然としました。

次のステップアップを思い悩んでいたとき、偶然、地元千葉県にある柏市生涯現役促進協議会のことを知り、思い切つて窓口を訪ねました。2019（令和元）年6月のことでした。そのとき、窓口の担当者の方が「一年

協力会員に登録、私にできることがあれば積極的にお手伝いさせてもらおうと思つています。

▼ 人生を楽しむ達人を目指して

趣味の旅行に加え、昔から松任谷由実さんと桑田佳祐さんの大ファンで、チケットの入手に苦労しながら、いまもコンサートを観ています。コロナ禍の影響で音楽活動が自粛になつたときは、アーティストも私たちファンもつらかったです。また落語も大好きで、お目当ての立川志の輔さんの落語会は欠かしていません。好きなものがあると人生が二倍樂しくなるような気がします。

余暇を安心して楽しめるのは、やはり働く場所がちゃんとあるからであつて、働き続けるためには心身ともに健康でありたいと、毎日1万歩以上をウォーキングし、週に2、3度はスポーツジムに通い筋トレで汗を流しています。仕事だけに追われていた日々と比べると、いまは一番充実した日々を過ごしています。若い人が「年をとるのも悪くはないな」と感じてもらえるような元気なシニアでいたいとひそかに心に誓っています。クリエすずき建設の理念もある「楽しく人生をデザイン」することを目指しながら、生涯現役の道をしっかりと歩いていこうと思います。